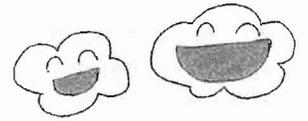


# つくって、あるいて、新発見!

～地域を知る・楽しむ 歩くプログラムの作り方～



平成25年3月  
神奈川県青少年指導者養成協議会



## はじめに ～歩く楽しさ～

乗り物に乗っての移動は快適です。しかし、目的地に着くまでの間、気づかないで通り過ぎていく事はあまりにも多くあります。

つぎに、同じコースを歩いたとします。歩くことで得られる周囲からの情報は、自動車や自転車に乗った場合より格段に多くなると思います。

さらに、途中で立ち止まれば……、より多くの事柄に気づくことができるでしょう。それは、私たちの目が「歩く」スピードに一番適応しているからなのです。

今回この冊子を作ろうと思ったきっかけは、通常、自然豊かな環境で行われているウォークラリー等の「歩くプログラム」ですが、展開方法やルールにひと工夫を加えることで、普段私たちが生活している地域でもゲームや遊び心をもって、楽しく歩く方法を提案できると考えたからです。多くの人が身近な場所を楽しみながら歩き、今まで知らなかった事柄に気づき、地域に対していろいろな興味を持つきっかけづくりとなることを目指して作成しました。

この冊子によって、「歩くプログラム」作りの取り組みが多くの地域に広がり、実践されることを期待しています。

第1章では、手軽にプログラムをつくりやすい「ウォークラリー」「フォトラリー」「写真オリエンテーリング」の3つのプログラムについて基本的な内容を説明し、実際にプログラムを作成する際のポイントについて触れています。

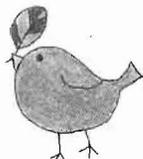
第2章では、実際にプログラムを作成する際に考えなければならない共通事項について記載するとともに、作成したプログラム例を紹介しました。それぞれの地域を活かし、工夫を凝らしたものが揃っています。横浜を歩くプログラムなどは、そのまま社会見学や遠足などの校外活動に使えるのではないのでしょうか？ それぞれの地域で「歩くプログラム作り」をする際にも参考になると思います。

第3章では、「歩くプログラム」を実施する際の安全管理上の留意点等について触れました。安全管理についての基本的な考え方とプログラムを安全に実施運営する際の、事前準備～実施中における対応と引率者の心構えについて記載しました。

最後の第4章では、地域の人々が、地域の子ども・若者を作成段階から巻き込んで、楽しみながらプログラムづくりに参画することについて提案しました。

つくられたプログラムが安全に運営され、地域を知り・楽しむ手段として広く取り入れられることを望んでやみません。皆さんの地域で楽しい歩くプログラムができましたら、今度は、青少年センター指導者育成課に是非お知らせいただきたいと思います。

本書が、地域の青少年活動に新たな展開を取り入れるきっかけとしてご活用いただければ幸いです。



神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会委員一同

はじめに ～歩く楽しさ～



1

目次

2

第1章 3つの「歩くプログラム」の基本的なルールと展開について 4

I ウォークラリー 4

II フォトラリー 6

III 写真オリエンテーリング 8

第2章 「歩くプログラム」作りのポイントと作成したプログラム実例 10

I 「歩くプログラム」を作成し実施する際に共通する事柄 10

1 ねらい

2 コースの設定方法

(1)地図の入手について

(2)地図上でのコース設定

(3)実際にコースを歩く

(4)コースの修正

(5)課題づくり

(6)確認のための検証と修正

(7)最終確認

3 「ふりかえり」の方法と内容

(1)方法について

(2)内容について



II 「歩くプログラム」で使用する地図の作成方法について 13

1 PC文書ソフトの罫線と文字を使って作図する場合

2 手描きで既製の地図の必要な部分を写し取る場合

3 既製の地図を加工する場合

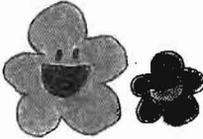
III 地域を活かした「歩くプログラム」実例 16

1 ウォークラリー 16

・ 愛川町食材GETラリー☆ 16

2 フォトラリー 26

・ コミュニケーションフォトラリー 桜木町～神奈川 編 26

3	写真オリエンテーリング		37
	・ 野毛山 ビンゴ		37
	・ 横浜ランドマークタワー編		45
	・ いろんなどころで探しモノ MM21 33ポイント		55
4	その他 歩くプログラムのバリエーション		64
	・ 金沢八景 ハッケンまちあるき		64

第3章 「歩くプログラム」を実施する際の安全管理について 73

- 1 安全管理 「基本的な3つの考え方」
- 2 危険因子を知る ～自然という非日常的な環境の中で～
- 3 実施前のリスクチェック
- 4 実施中の安全管理「大切な3つのポイント」
- 5 万が一の時の対応「被害を最小限に抑え、被害者を救済する初動体制」
- 6 引率者(指導者)になる方の日頃の心構え ～備えあれば憂いなし～

第4章 地域の子ども・若者が参画する「歩くプログラム」作りの視点 76

- 1 子ども・若者の地域活動参画の視点
- 2 子ども・若者と大人の関係について
- 3 終わりに

参考文献・資料 78

